

2025 年 4 月新人研修実施所感レポート

1.実施状況（以下、全て同じ講師での実施）

2025/4/2 商社 I 社 day1 テーマ「なぜ、働くのか？」受講者 110 名

2025/4/3 商社 E 社 day1 テーマ「教わる前にまず考える、ビジネスマナー」受講者 13 名

2025/4/7 ホテル C 社 テーマ「なぜ、働くのか？」受講者 69 名

2025/4/8 IT 企業 J 社 テーマ「なぜ、働くのか？」受講者 72 名

2025/4/9 小売り T 社 テーマ「なぜ、働くのか？」受講者 26 名

2025/4/10 商社 E 社 day2 テーマ「マナー+OJT トレーニーの心構え」受講者 13 名

2025/4/11 商社 I 社 day2 テーマ「配属後のスタートダッシュ」受講者 110 名

※色付きは、同企業を合計 2 日間担当

2.各クライアント企業様の主な問題意識、及び弊社へのご依頼、ご要望事項

①働くことに対する「前向きな労働観の醸成」

⇒働くことそのものにネガティブ or 深く考えられていない方が多いという背景より

②受け身から「自主・自立への切り替え」

⇒真面目で素直な方が多いものの、言われてから動く受け身な方が多いという背景より

③主に現場配属後を見据えた「必要な厳しい指摘・フィードバック」

※良いところは良い、ダメなところはダメというメリハリを持って接すること

⇒指摘、叱られ慣れていない方が多いという背景より

3.受講者に対する所感

<その 1>

全体の約 6 割が、働くことに対して、どちらかというと「ネガティブ」という意見。

また、働くことそのものについて、深く考えたことがない方は、圧倒的多数。

大多数の人が、働くことに、多くの時間を費やすという現実。

「ネガティブ」のまま、配属されると、半年もしないうちに、
目が死んだ大人の仲間入り！！

※弊社プログラム「なぜ、働くのか？」を通じて、

働くことそのものに関する考え方が変わったという方は多数。

⇒やはり働くベースとなる「前向きな労働観の醸成」は重要と再度実感。

<その2>

厳しさがあるからこそ、本人達も、メリハリ、オンオフの切り替えができるようになる。

厳しいメッセージも、本人のため、信念と理由を持って伝えれば、

今の時代でも、90%以上の方は、正面から受け止めてくれる。

ただし、消化しきれない方、消化に時間がかかる方も、増加傾向。

今時と言われるのを覚悟で、弊社は受講者の配属後の活躍を信じ、

かなり厳しく、耳の痛いメッセージもお伝えしている。

もちろん、「ただ怒られた」という受け止めで終わる方、

「厳しくて逆にモチベーションが下がった」という方も中にはいるのも事実。

しかし、今年度実施し、90%の方は、「自分のためになった」

「今の時代、言ってもらえるのは有難い」「スイッチが切り替わった」という意見。

⇒今の時代に合わせた関わり方は重要。しかし、時に「厳しさ」も必要。

<その3>

知識やスキルは非常に大切。しかし、それ以上に、

マインド・スタンス（≡取り組み、向き合う姿勢）はもっと大切。

また、「基本」と「基準」がその人の土台を創る。

他の研修会社様、及び社内研修後に、弊社の研修を実施した企業様では、

新入社員のスイッチが切り替わった瞬間に驚かれる人事担当者様が多数。

その姿を見て、一気に頼もしく感じ、新人扱いをやめる人事担当者も。

大切な「基本」と「基準」をしっかり理解してもらえれば、新入社員は、

学生から社会人へ、一気に切り替わると今年度も実感。

⇒新入社員が求めるスキル、テクニック以上に、「基本」「基準」の形成が重要。

<その4>

「打ってどれだけ響くか」が今後の成長度合いに大きく影響するという仮説。
斜に構えている方が、必ずしも、成長しない訳ではない。

色々な業界、企業様の新入社員の皆様に関わる中で、
打てば響くタイプ（≡すぐに切り替え、行動できる方）となかなか響かないタイプ
（≡分かっているけど、なかなか切り替えられず、行動に移せない方）に分かれた。
1つの仮説ではあるが、やはり打てば響くというのは、成長において大切と実感。
また、斜に構えている方も少なからずいたが、厳しく言われて腐るタイプと、
反骨精神を持つタイプに分かれた。後者であれば、おそらく大丈夫！！

⇒打っても響かないタイプに配慮、考慮し過ぎて、

打てば響くタイプの可能性まで摘むのは、実は企業にとって、大きな損失。

※人事担当者様、及び研修会社の講師としては、例えそれが少数派の声だとしても、
アンケートのネガティブな声に引っ張られてしまう傾向。しかし、それによって、
当たり障りのない、お茶を濁す研修で本当に良いのか？
運営側としては、深く問われること。

≡問われる、育成側の信念と覚悟。

以上